

2012年3月期業績予想

2011年6月16日

株式会社タダノ



11年度業績予想

(単位:百万円)

	10年度		11年度予想		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	89,807	100.0%	110,000	100.0%	20,193
営業利益	-3,733	-4.2%	2,800	2.5%	6,533
経常利益	-3,886	-4.3%	2,500	2.3%	6,386
当期純利益	-6,722	-7.4%	1,500	1.4%	8,222

1株当たり配当金	中間	0.00円	中間	0.00円
	期末	3.00円	期末	3.00円
	年間	3.00円	年間	3.00円

	10年度	11年度計画
設備投資額	964百万円	1,640百万円
減価償却費	2,696百万円	2,890百万円
為替レート(EUR)	116.39円	115.00円
為替レート(US\$)	87.81円	80.00円

※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。

【業績予想の概況】

主力の建設用クレーンにおいて、欧州市場では回復の足取りが重いものの、北米市場が回復に転じ、エネルギー関連を始め各種プロジェクトによる需要の増加もあって海外需要は総じて回復、国内需要は老朽化による買い替えで回復を見込む。

また、車両搭載型クレーンの国内需要は減少、高所作業車の国内需要は回復を見込む。

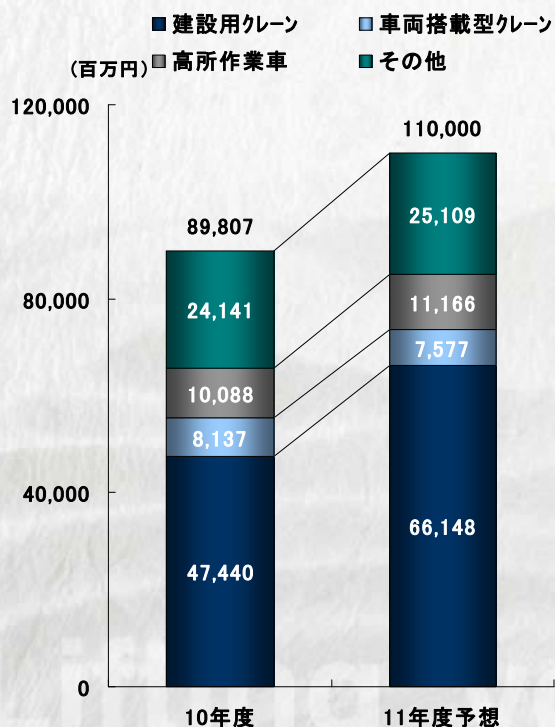
なお、現時点では、建設用クレーンの復旧・復興関連の国内需要増加は見られていない。

一部部品の調達難から主力の志度工場ではラフテレーンクレーンの一時ライン停止や減産を余儀なくされてきたが、徐々に解消し、今後の調達にも一定の目処がつつある。車両搭載型クレーンや高所作業車の生産もトラックの入荷遅れが徐々に解消見込み。

このため、第2四半期以降に、第1四半期の生産や販売の遅れを取り戻すべく、グループの総力を挙げて、取り組む。

11年度業績予想(製品別売上高)

(単位:百万円)



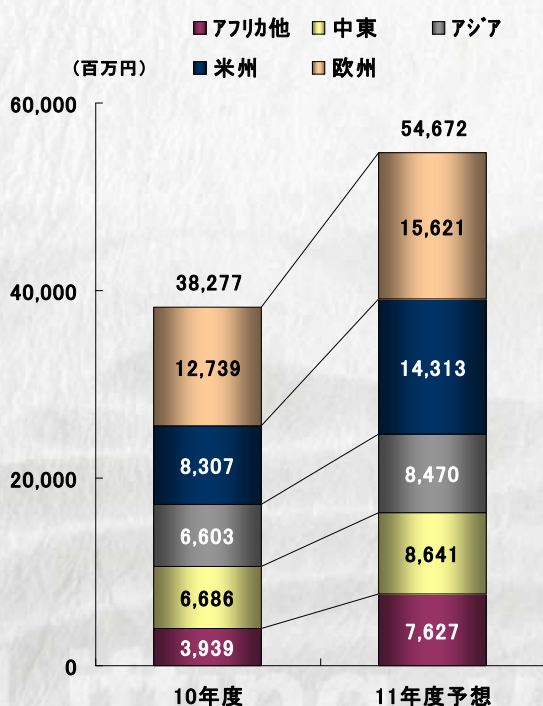
	10年度		11年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	47,440	52.8%	66,148	60.1%	18,708	39.4%
車両搭載型クレーン	8,137	9.1%	7,577	6.9%	-560	-6.9%
高所作業車	10,088	11.2%	11,166	10.2%	1,078	10.7%
その他	24,141	26.9%	25,109	22.8%	968	4.0%
合計	89,807	100%	110,000	100%	20,193	22.5%

【製品別ポイント】

- ◆建設用クレーン **+187億円**
 (国内) 老朽化による買い替えで、売上増 34億円
 (海外) 市場の反転で売上増 152億円
- ◆車両搭載型クレーン **△5億円**
 国内需要は減少と見込む
- ◆高所作業車 **+11億円**
 国内需要の回復を見込む
- ◆その他 **+10億円**
 部品他で売上増

11年度業績予想(仕向地別売上高)

(単位:百万円)



	10年度		11年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	12,739	14.2%	15,621	14.2%	2,882	22.6%
米州	8,307	9.2%	14,313	13.0%	6,006	72.3%
アジア	6,603	7.4%	8,470	7.7%	1,867	28.3%
中東	6,686	7.4%	8,641	7.9%	1,955	29.2%
アフリカ他	3,939	4.4%	7,627	6.9%	3,688	93.6%
小計(海外計)	38,277	42.6%	54,672	49.7%	16,395	42.8%
日本	51,530	57.4%	55,328	50.3%	3,798	7.4%
合計	89,807	100%	110,000	100%	20,193	22.5%

※左のグラフには、日本を含んでおりません。